



2020年9月30日

各位

会社名 ソーバル株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者 推津 敦
 (コード番号: 2186)
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 島谷 裕一
 (TEL: 03-6409-6131)

2021年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年7月8日に公表した2021年2月期第2四半期(累計)業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2021年2月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異について

(1) 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,660	70	190	115	14.62
実績値(B)	3,645	142	257	152	19.37
増減額(B-A)	△14	72	67	37	—
増減率(%)	△0.4	104.2	35.5	32.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	4,157	363	373	240	30.00

(2) 2021年2月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000	120	80	10.17
実績値(B)	3,011	165	106	13.59
増減額(B-A)	11	45	26	—
増減率(%)	0.4	38.1	33.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	3,396	279	184	23.10

2. 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、前回予想（上記「前回発表予想（A）」）に対して、売上高が14百万円減少し、営業利益が72百万円、経常利益が67百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が37百万円増加する結果となりました。営業利益が増加した主な要因といたしましては、テレワークによる稼働の見積もりが想定より上がったこと、不要不急の経費選別などのコスト削減効果によるものです。経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益が増加した理由につきましても、営業利益の増加と同様の理由となります。なお、通期業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染の動向を見極めながら、修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

以上